

宮坂建設工業が防災推進会議

予防安全の徹底を確認

450人参加しゼロ災達成誓う

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は二十二日、帯広市内の北海道ホテルで、防災推進会議を開催した。同社社員と協力会社合わせて約四百五十人が参加。宮坂社長は「初心にかえって気を引き締めてほしい」と呼びかけ、出席者全員で「とし一年間の無事故・無災害を誓った。はじめに、宮坂社長「写真」があいさつ。資材の高騰や労働者の不足など業界の問題についてふれ、「一緒に働いている皆さんと具体的に相談しながら解決していきたい。ことしは社会保険加入の問題など業界周辺の変化があるが、協力会社の皆さんとともに具体的な提案をさせていただきたい」と述べた。また、今後、工事が本格化していくことから「安全は生き物。気を



引き締めて、原点に立ち返り、自分の体は自分で守る。現場は自分で守るというのを徹底していただきたい」と呼びかけた。続いて、企業表彰と職長表彰を行ったあと、帯広警察署の中谷錠司交通官が「交通事故防止について、帯広市消防署の加藤和範救急課長・消防司令長が「応急手当の重要性について」講話。

このほか、宮坂建設工業の有川進執行役員副社長(総括安全衛生管理者)が「労働安全衛生方針・労働安全衛生マネジメントシステム」の説明を行った。労働安全衛生目標として、「すべての労働災害について休業災害ゼロ件」を掲げている。二十五年度の労働災害発生状況やヒヤリハット情報などを踏まえた上で、予防安全をより徹底するため、リスクアセスメントを取り入れた教育の強化と実践、現場内の環境整備などを進めていく。

北海道建設新聞社 平成26年4月24日(木)

防災推進会議で事前準備強化  
宮坂建設工業(本社・帯広)は22日、帯広市内の北海道ホテルで2014年度防災推進会議を開いた。写真。協力会社を含む450人が参加し、事前準備の強化で災害ゼロを目指すことを確認した。



宮坂寿文社長は「常に初心に戻って取り組まな

くては。今日は安全第一で頑張ることを誓うのだ」と述べ、無事故無災害の達成を呼び掛けた。講話では、帯広警察署の中谷錠司交通官が、13年に道内で発生した建設業の交通事故動向を報告。事故が多い時間帯は、午前では6時から8時で全産業の動向より早い点や、年齢層については全産業で30代と60代が多かったのに対し建設業では40代と50代に集中している点を指摘した。

十勝毎日新聞社 平成26年4月23日(水)

安全大会

◆宮坂建設工業(宮坂寿文社長)

22日、帯広市内の北海道ホテルで「防災推進会議」として開かれ、同社や協力会社の社員ら約450人が



出席した。宮坂社長は「気を引き締めて、現場は自分で守ることを徹底して」とあいさつした。写真。

宮坂建設工業札幌支店が防災推進会議

段取り八分 準備徹底を

下請からの意見は遠慮なく

宮坂建設工業(株) (帯広)の札幌支店(佐々木勝幸支店長)は二十四日、札幌サンプラザで二十六年度防災推進会議を開き、参加者全員で労働災害の絶無を誓った。本支店役員五十人と協力会社百九十五社から三百

人の合わせて三百五十人が参加した。あいさつした宮坂寿文社長「写真」は、本年度の方針として「段取り八分」を強調。「八〇%完了状態で現場に乗り込めば、あと二〇%の作業で済む。是非、事前準備、事前学習、事前

調査、事前打ち合わせを徹底してほしい」と万全の準備を求めた。宮坂社長はまた「元請と協力会社のコミュニケーションが(作業の)最大のライオン」とも指摘。安全確立のために有機的、具体的に意見や要望を遠慮なく出すよう協力会社に促した。安全表彰に続



き、札幌中央労基署・渡部智次長、札幌方面北警察署・関渡交通官や、札幌市消防局の担当者が講話。同社の有川進副社長(総括安全衛生管理者)が労働安全衛生方針等を説明し、全員で安全第一の基本を再確認した。会議に先立ち安全祈願祭を北海道神宮で執り行った。社長はじめ役員が参列し、一年間の無事故を神前に祈願した。

同社は「安全は事前に危険の芽を摘み、事故・災害を未然に防ぐ」ことが大切との考えから、安全大会を「防災推進会議」に改称し、帯広本社で平成十年から実施。札幌支店では従来「安全研修会」を開催してきたが、協力会社数が増加したため二十二年度から防災推進会議に切り替えた。

安全作業徹底 350人が誓う

宮坂建設札幌 防災推進会議

宮坂建設工業(本社・帯広)は二十四日、札幌サンプラザで札幌支店防災推進会議を開いた。協力会社を含む約350人が、安全作業の徹底を誓い合った。写真。宮坂寿文社長は「ことしは、段取り八分」という基本に立ち返ってい



る。皆さんも事前準備、学習、打ち合わせなどを徹底して現場に当たって

ほしい。協力会社とのコミュニケーションも積極的に図る」とあいさつ。来賓の札幌中央労基署の渡部智次長は「本年度は特に死亡事故のない最良の年となるように」と吉村直起署長のメッセージを伝えた。この後、札幌北警察署や市消防局の担当者が交通安全や建設現場での火災・防火対策について講演。同社の有川進副社長は労働安全衛生方針を説明した。